

「下水道管更生技術施工展2017青森」開催

篠田 康弘
SHINODA Yasuhiro

(公社)日本下水道管路管理業協会
常務理事



1. 出展40団体の盛大な開催に

さる10月5日（木）に表記第17回施工展が青森市青い森セントラルパークで開催された。東北支部では平成25年の宮城県利府町に続いての3回目の開催となった今回は、前後の雨の降り続く日に挟まれた青空の天候に恵まれた開催となった。

今回は、東北地方で「ストックマネジメント計画」の策定が急速に進む中、また、管更生工法の発注が大きく伸びる中での開催ということもあり、更生工法の最新の技術や耐震対策・各種調査機器などの実演を熱心に見入る人が多かった。出展数も昨年の43団体に次ぐ40団体と、これまでの2番目の出展数となり、また、来場者数も1,000人を越え、賑わいのあるものとなった。

主催は当協会本部及び東北支部で、国土交通省東北地方整備局、青森県、青森市、東北地方下水道協会、(公財)日本下水道新技術機構の後援を得ることができた。

2. 開会式には青森市長が出席

開会式は、ミス日本水の天使の宮崎あずささんに司

会を引き受けていただき、来賓として、国土交通省東北地方整備局建政部長、青森県県土整備部長とともに青森市長がご出席され、注目が集まる中での進行となった。主催者を代表しての当協会の長谷川会長及び東北支部長の挨拶に引き続き、各御来賓の挨拶が行われ、各界からの管更生工法に対する期待が延べられた。開催地の青森市長からは、今回の開催に尽力した東北支部へのねぎらいと、管更生工法への期待が述べられた。その後、テープカットが行われ、閉会後は各ご来賓方が各ブースを見回るなか、いよいよ実演開始となった（写真－1）。



写真－1 開会式（テープカット）

表－1 分類別出展団体（重複を含む）

分類（団体数）計【40】	出展団体名（協会等は省く）
管きょ更生・補修・改築【15】	(株)アームズ東日本、EX・ダンビー、EPR工法、ASS工法、SWライナー工法、FRP工法、FFT工法、オールライナー、3SICP技術、日本インシチュフォーム、日本SPR工法、日本スナップロック、パルテム技術、光硬化工法、ポリエチレンライニング工法
穿孔ロボット【3】	(株)南陽、(株)北菱、(株)ビーエスエル
コンクリート防食・被覆【2】	クリスタルライニング工法、日本ジッコウ
マンホール改築・補修【10】	MR ² 工法、MLR、クリスタルライニング工法、3SICP技術、長島鋳物(株)/全国バラボラ工法、日本ジッコウ(株)、日本スナップロック、日之出水道機器(株)、ポリエチレンライニング工法
管内洗浄・清掃【4】	兼松エンジニアリング(株)、兼松エンジニアリング(株)、管清工業(株)、(株)カンツール
調査・点検・診断・解析等【7】	(株)NJS、(株)ガステック、管清工業(株)、(株)カンツール、(株)キュー・アイ、(株)ビーエスエル、ペンタフ(株)
安全衛生管理【6】	阿南電気(株)、(株)ガステック、重松製作所、新コスモス電機(株)、ティー・アイ・トレーディング(株)、理研計器(株)
公的団体等【2】	(公社)日本下水道協会、(公財)日本下水道新技術機構



写真-2 会場風景



写真-4 ガイドツアーの集合



写真-3 青森県支部会によるデザインマンホール蓋の展示



写真-5 デモ施工の様子

出展団体を分類別に示したのが表-1で、管きょ更生・補修・改築技術が中心であるが、関連技術としての取付け管穿孔ロボットを始め、防食やマンホール、さらには調査等技術や安全衛生管理も多く出展され、管路管理全般の展示会の様相となっていた。実演は、1団体15分から30分程度の枠を設け、実機を用いたデモンストレーションも行われ、施工の手順や様子を実際に目で見て確認することができた。これにより、最新の技術や設備・機器の選択に当たって、大いに参考になった、という声が多く聞けた。

また、今回は、「管更生工法の設計・施工に関するガイドライン」の発行を受けて（公社）日本下水道協会がブースを初めて設け、ガイドラインの展示・PRをしていた。

この他、震災対策としてのマンホールや管口の耐震化技術についても自治体のニーズが強いことから、耐震技術のマンホール浮上抑制技術8工法、管口可とう化技術5工法、マンホール・管きょ耐震化技術3工法もパネル展示という形で参加していただいた。この他、デザインマンホール蓋を、青森市などから展示していただいた（写真-2、3）。



写真-6 デモ施工の様子

今回も出展数も多いことから、ガイドツアーとして、午前午後それぞれ3つのグループを設け、東北支部会員ガイドの案内で効率的に各工法分類をくまなく回れる企画を昨年に引き続き実施し、多くの方々の参加を得て大変好評であった（写真-4～6）。

3. 講演会

併催行事として表-2（敬称略）に示すような講演会を昼の時間に水の天使の宮崎あずさんの司会の

下、特設テントにおいて行った。今回は、国交省の森岡部長に特別講演をいただき、到来したマネジメント時代への抱負が語られた。また、青森県の小山内主幹より県内のストックマネジメント計画策定状況、青森市の木村主査からは法改正を受けての点検のあり方などについての講演が行われた。丁度青森工業高校の生徒さんもシャトルバスで多数来場したところでもあり、森岡部長の高校生にも分かりやすい講演で、記憶に刻まれたことと思われる（表－2、写真－7）。

3. おわりに

この展示会は、毎年当協会の7支部の持ち回りで開催されており、2順目も終盤に差し掛かっている（表－3）。

来年第18回目の開催場所は、関西支部の神戸において開催することとなった。関西支部では、初回と第2回が開催され発祥の地であるが、平成22年の大阪市コスモスクエア以来8年ぶりの開催となる。会場は、神戸市の西垂水環境センターの敷地をお借りすることで調整をしており、大都市での交通の便利な場所での開催となることから、集客も大いに見込まれる。来年

表－2 講演会プログラム

『マネジメント時代の下水道事業』
国土交通省水管理・国土保全局下水道部長 森岡 泰裕 様
『青森県における 下水道管路のストックマネジメント計画策定の現状』
青森県県土整備部都市計画課総括主幹 小山内 文敏 様
『青森市における 下水道管路の点検調査計画及び改築更新計画の考え方』
青森市環境部下水道整備課主査 木村 拓司 様



写真－7 講演会の様子

も、地域に相応しい企画とするよう関西支部及び当協会内の「修繕・改築委員会」や「施工展運営委員会」等において検討してまいりたい。

表－3 施工展開催実績

回数	開催都市	開催場所	開催日	出展数	入場者数
第1回	和泉佐野市	りんくうタウン	H13.12.06	19	923名
第2回	大阪市	コスモスクエア	H14.11.08	24	1,107名
第3回	広島市	海島博覧会場跡	H15.10.24	26	1,531名
第4回	名古屋市	名古屋市応急給水センター	H16.10.08	33	1,474名
第5回	佐賀市	どん3広場	H16.11.11	28	1,082名
第6回	塩竈市	JR本塩釜駅貨物ヤード跡地	H17.10.06	29	1,237名
第7回	小樽市	「小樽築港前駅」前JRヤード	H18.06.16	28	1,245名
第8回	松山市	城山公園内	H19.10.12	29	1,338名
第9回	三郷市	中川水循環センター	H20.10.9-10	28	2,346名
第10回	大阪市	コスモスクエア	H22.10.06	28	1,786名
第11回	福岡市	舞鶴公園西広場	H23.10.05	28	1,354名
第12回	新潟市	新潟市中央区鐘木地内	H24.10.03	34	1,236名
第13回	利府町	宮城県グランディ21	H25.10.04	37	1,204名
第14回	札幌市	ケーズデンキ月寒ドーム	H26.9.18	29	1,164名
第15回	倉敷市	児島下水処理場	H27.10.22	35	1,438名
第16回	千葉市	千葉県流域下水道花見川処理場	H28.10.20	43	1,506名
第17回	青森市	青い森セントラルパーク	H29.10.5	40	1,029名
第18回	神戸市	垂水スポーツガーデン	H30.9.27	—	—